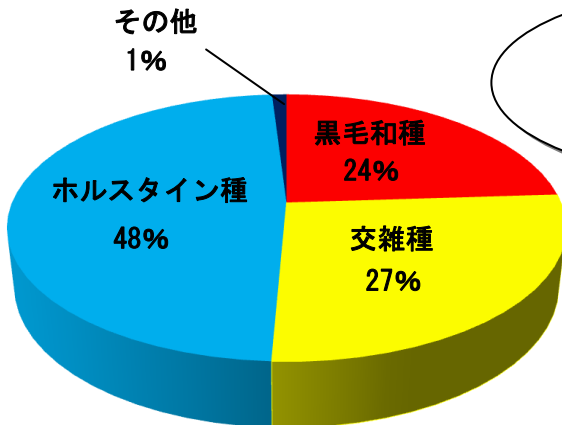


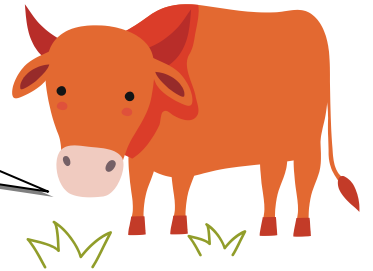
広島市食検だより

2014年5月 第5号



H24年度 広島市と畜場に搬入された牛の内訳

広島市と畜場には、
どんな種類の牛が
来るのかなあ…？



広島市と畜場に搬入される牛は、「黒毛和種」、「交雑種」、「ホルスタイン種」が全体の99%占めます。その他の種類として、「褐毛和種」、「ジャージー種」、「ブラウンスイス種」などがあります。それぞれの種類の特徴は以下のとおりです。

(写真提供：社団法人全国肉用牛振興基金協会)



黒毛和種 (くろげわしゅ)

和牛の9割以上が黒毛和種で、全国的に飼育されています。品種改良により肉質、脂肪交雑[※](霜降り)が優れています。
※筋肉中の脂肪の入り具合のこと



交雑種 (こうざつしゅ)

生産コストの引き下げ、肉質の向上を目的として、異なる品種同士を交配させた牛です。黒毛和種とホルスタイン種との交雑種が代表的です。



ホルスタイン種

世界中で最も多く飼育されている乳用種です。メスは乳牛として飼育され、オスは去勢され肉用として肥育されます。



褐毛和種 (あかげわしゅ)

熊本県と高知県が主産地です。体格、肉質が良く、成長も早く、特に暑さに強いのが特色です。



ジャージー種

イギリス海峡のジャージー島原産の乳用種です。ホルスタイン種に比べて乳量は少ないものの、乳脂肪率が高く、風味の良い乳質が特徴です。



ブラウンスイス種

スイスを中心に、ヨーロッパ圏やロシア、アメリカで飼育されています。毛色は灰褐色で乳肉兼用種です。